

平成19年度 先端技術を活用した農林水産研究高度化事業 採択課題一覧

課題番号	課題名	中核機関	研究期間(年)
I 研究領域設定型研究			
1 全国領域設定型研究			
(1)一般型			
1901	野菜等の品目別カドミウム濃度の解明と吸収抑制技術の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1902	営農管理的アプローチによる鳥獣害防止技術の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1903	カワウによる漁業被害防除技術の開発	(独)水産総合研究センター	3
1904	広葉樹林化のための更新予測および誘導技術の開発	(独)森林総合研究所	5
1905	マグロ類の人工種苗による新規養殖技術の開発	(独)水産総合研究センター	4
(2)リスク管理型			
1906	市販加工食品の標準的レシピの開発とデータベースの構築	和洋女子大学	2
1907	ヘパタウイルスの土壌及び作物への残留予測と吸収抑制技術の開発	(独)農業環境技術研究所	1
1908	コイヘルペスウイルス病のまん延防止技術の開発	(独)水産総合研究センター	4
1909	監視伝染病等の病性鑑定手法の高度化と精度管理手法に関する研究	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	2
1910	小型ピロプラズマ病リスク低減のための飼養管理技術の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
(3)輸出促進・食品産業海外展開型			
1911	果実輸出における害虫付着果及び食入果の流通阻止技術の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1912	海外需要に対応した茶の無農薬栽培法と香気安定発揚技術の確立	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	5
1913	国産果実の輸出促進に向けた低コスト生産・流通システムの開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1914	国産材活用中国向け低コスト木造住宅部材の技術開発	(財)日本木材総合情報センター	3
1915	乾燥ナマコ輸出のための計画的生産技術の開発	(独)水産総合研究センター	3
1916	サケ輸出促進のための品質評価システムの開発と放流技術の高度化	(独)水産総合研究センター	5
1917	青果物のスーパー・パーシャルシール鮮度保持包装技術の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1918	ドバイへの北海道物産輸出のための海上輸送技術開発と市場調査	(株)ドーコン	3
1919	輸出に対応した地域特産切り花の流通技術の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1920	急須なしでも本格的な日本緑茶が味わえるドリップ式緑茶の開発	静岡県	3
1921	電磁波殺菌とナノミストを用いた青果物の高鮮度輸送技術の開発	九州大学	3
1922	サツマイモを用いた欧米向け高機能性食品素材の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1923	サンマのグローバル商品化のための高鮮度・高効率加工技術の開発	(独)水産総合研究センター	3
1924	電極表面修飾法を用いた辛味などの非電解質の評価方法の開発	(株)インテリジェントセンサーテクノロジー	3
2 地方領域設定型研究			
1925	冷水資源を利用した根域冷却による野菜の高品質化技術の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1926	実需者のニーズに応える北関東麦生産システムの確立研究	埼玉県	3
1927	近畿地域輪作体系のための黒大豆の安定生産技術の開発	兵庫県	3
1928	2種生物資材の有効活用によるキュウリ黄化えそ病防除技術の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1929	有明海沿岸におけるミズゴケ栽培を用いた環境保全型農業技術開発	九州東海大学	3
1930	諫早湾干拓地における環境保全型大規模生産技術体系の構築	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1931	酪農地帯の環境・観光と共存可能な低コスト液状ふん尿施用技術	北海道	3
1932	東海地域を中心とする希少な遺伝資源鶏の保存及び活用技術の開発	(独)家畜改良センター	3
1933	ホエー代用乳を用いた近畿産ブランド和牛のほ乳期発育改善	大阪府	3
1934	焼酎粕の機能性を利用した飼育豚の生産性向上に関する研究	鹿児島大学	3
1935	道内カラマツ資源の循環利用促進のための林業システムの開発	(独)森林総合研究所	4

課題番号	課題名	中核機関	研究期間(年)
II 地域活性型研究			
1 地域競争型研究			
1938	若年層の野菜離れストップ！子供でも食べやすいネギ育種技術開発	福岡県	3
1940	低棟ハウスと全面水耕ベッドによる葉菜の超低コスト・高収益施設	広島県	3
1941	カキ紅葉の安定生産技術の開発	奈良県	3
1942	DNAマーカーを利用したトラフグの性判別法と全雄作出法の開発	東京大学	4
2 広域ニーズ・シーズ対応型研究			
1936	ポジティブリスト対応、ドリフト防止可能な発泡散布技術の開発	大阪府立大学	3
1939	紫外光(UV-B)照射による施設野菜生産システムの開発	兵庫県	3
1943	低コスト栽培・高効率発酵によるライスエタノールシステムの確立	筑波大学	3
1944	水田地域における生物生息ポテンシャル算定モデルの開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	1
1945	中山間地茶園向けの防除作業機の開発と減農薬防除技術の確立	滋賀県	3
1946	昆虫伝搬性イチゴ新病害(葉縁退緑病)の監視・制圧技術の確立	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1947	備讃地域陸海域の水・栄養塩動態解明と農業への再利用技術の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1948	合成性フェロモン活用によるアカスジカスミカメ管理技術の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1949	根圏環境の改善と生育診断による北陸産大豆の多収栽培技術の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1950	生産環境等からの病原指標菌の高感度検出法の開発及び動態解明	佐賀大学	3
1951	防疫・省力・高品質機能を合せ持つ革新的イチジク樹形の開発	大阪府	4
1952	鉄コーティング種子を核とする環境調和型水稻直播技術の確立	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1953	脱窒資材を活用した茶園からの硝酸性窒素排出削減技術の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1954	新規市場を創造する高リコベントマト安定生産供給システムの開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1955	断続熱処理と診断キットを活用した無毒カンキツ園育成法の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1956	新染色体倍加法を用いた種子繁殖および早期開花性ユリの開発	新潟大学	3
1957	EOD反応を活用した花き類の効率的生産技術の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1958	菌床シイタケ害虫ナガドキノコバエの環境保全型防除技術の開発	(独)森林総合研究所	3
1959	国際的基準に基づく森林の生物多様性変化予測・評価手法の開発	(独)森林総合研究所	1
1960	本邦南西水域の環境変化に対応した藻場の回復・拡大技術の高度化	(独)水産総合研究センター	3
1961	抗体・プロテインチップを用いたヒラメの健康管理技術の開発	(独)水産総合研究センター	3
1962	大型魚の漁獲ストレス緩和技術導入による高鮮度維持システム開発	北海道大学	3
1963	種苗放流が遺伝的多様性に与えるリスクの評価と低減技術の開発	(独)水産総合研究センター	5
1964	干潟生態系における多様性評価手法の開発	(独)水産総合研究センター	1
1965	燃料経費削減のためのシラス魚群マップ即日配信システムの開発	徳島県	3
3 現場連携支援実用化促進型研究			
1966	特産作物「赤シソ」の産地を脅かす青枯病を防止する収穫機の開発	愛媛県	3
1967	ブドウ園の葉面積と日射モニタリングによるかん水制御技術の開発	島根県	3
1968	次世代型県産材供給システムの開発	長野県	3
III 府省連携型研究			
1969	水晶発振子を用いた茶葉中メチル化カテキン簡易即時定量法の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1970	DNAマーキングによる栄養繁殖作物の品種・産地判別技術の開発	(独)理化学研究所	3
1971	ウェアラブルアグリロボットの実用化	東京農工大学	3
1972	異種抗原を付加した鶏を利用する新規ワクチン作製法の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	3
1973	鶏ふん焼却灰からのリン回収・有用物活用の技術開発	宮崎大学	3
1974	新しい木材乾燥システムによる低コスト化と有用成分の回収	宮崎県	3